

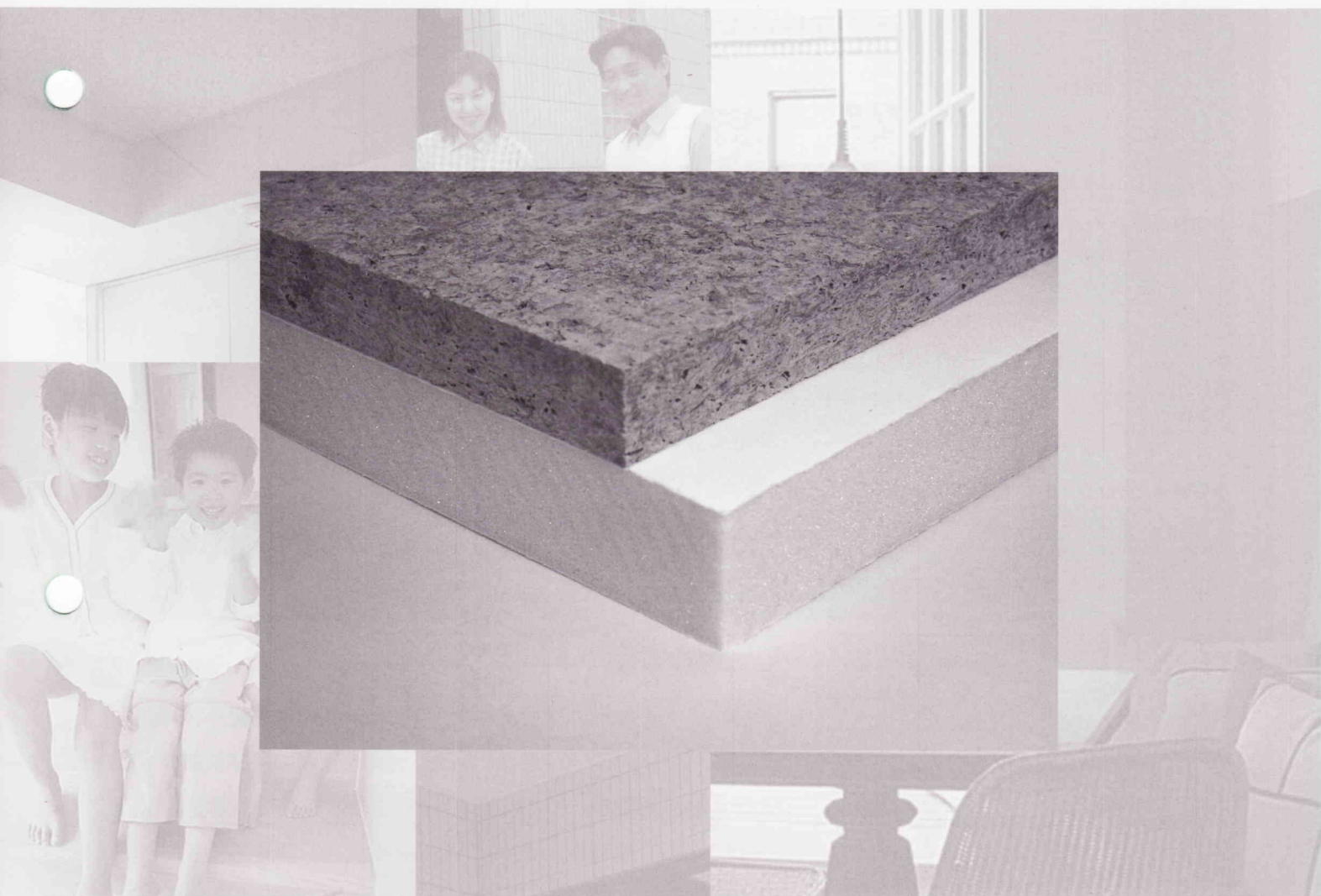
環境と健康を守り安全で快適な空間を造ります

グリーン購入法指定 硬質木毛セメント板  
ノンフロン イソシアヌレートフォーム  
準不燃材料 せっこうボード

遮音性・意匠性・耐久性向上

高性能断熱・壁耐火1時間(非耐力)

# カベイチ Bタイプ



興亜不燃板工業株式会社

## 特長

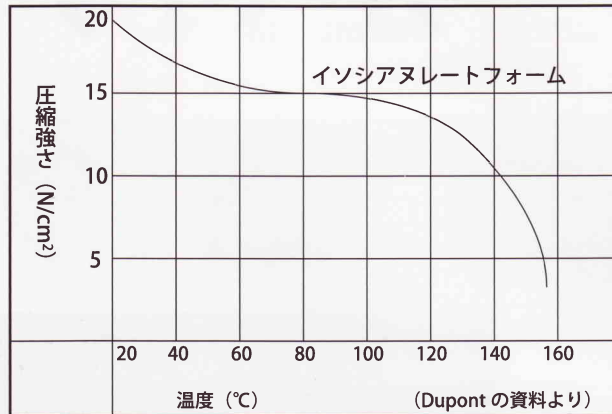
- \*アスベストなど健康を害する有害物質は一切使用していません。
- \*ホルムアルデヒド等低放散型建材です。
- \*建物の高断熱化を推進します。
- \*金属板の下地に石膏ボードを使用することにより断熱材への外気温の影響やビスの締め過ぎなどによる表面の凹凸を軽減し、遮音性、意匠性、耐久性を向上させました。
- \*木毛セメント板は25mm～50mm、イソシアヌレートフォームは10mm～75mm石膏ボードは9.5mm以上自由に組み合わせてご使用頂けます。(詳細は施工仕様参照)
- \*柱間隔は構造計算等により安全な範囲でご使用頂けます。

## 製品規格 大きさ 910×1820mm (硬質木毛セメント板・イソシアヌレートフォーム・せっこうボード)

### ◆イソシアヌレートフォーム

厚み	熱伝導率 λ	熱抵抗 R	熱貫流率 K
mm	W/m・K	m <sup>2</sup> ・K/W	W/m <sup>2</sup> ・K
10	0.021	0.476	2.10
15		0.714	1.40
20		0.952	1.05
25		1.191	0.84
30		1.429	0.70
40		1.905	0.52
50		2.381	0.42

### ■イソシアヌレートフォームの温度と圧縮強さの関係



### ◆硬質木毛セメント板

厚み	熱伝導率 λ	熱抵抗 R	熱貫流率 K
mm	W/m・K	m <sup>2</sup> ・K/W	W/m <sup>2</sup> ・K
25	0.13	0.192	5.21
30		0.231	4.33
40		0.308	3.25
50		0.385	2.60

### ◆せっこうボード

厚み	熱伝導率 λ	熱抵抗 R	熱貫流率 K
mm	W/m・K	m <sup>2</sup> ・K/W	W/m <sup>2</sup> ・K
9.5	0.22	0.043	23.26

### ◆硬質木毛セメント板+イソシアヌレートフォーム複合板

厚み (mm)		断熱性能		強度
硬質木毛セメント板	イソシアヌレートフォーム	せっこうボード	熱抵抗 R	曲げ破壊荷重
熱伝導率=0.13W/m・K	熱伝導率=0.021W/m・K		m <sup>2</sup> ・K/W	N
25	10	9.5	0.712	2,500
	15		0.950	
	20		1.188	
	25		1.426	
	30		1.664	
	40		2.140	
	50		2.616	
30	10		0.750	3,000
	15		0.988	
	20		1.226	
	25		1.464	
	30		1.703	
	40		2.179	
	50		2.655	

### ◆硬質木毛セメント板25、30+イソシアヌレートフォーム20mm+せっこうボード9.5mm

硬質木毛セメント板厚み	周波数 (Hz)	125	250	500	1000	2000	4000
25mm	透過損失	22.3	27.5	32.9	38.3	43.8	49.4
	dB	23.4	28.7	34.0	39.5	45.0	50.6
30mm	透過損失	22.3	27.5	32.9	38.3	43.8	49.4
	dB	23.4	28.7	34.0	39.5	45.0	50.6

## 施工方法

- \*柱（間柱）間隔は構造設計等により安全性を確認して下さい。
- \*胴縁間隔は 910mm 以下として下さい。
- \*木毛セメント板室内側となるようにイソシアヌレート、せっこうボードの順番で胴縁にタッピンねじで取り付けて下さい。複合して取り付けても結構です。但し、縦目地には指定の目地材付き T 型ジョイナーを使用して下さい。
- \*下地材取り付け後は速やかに防水材を 100mm 程度重ねながらタッカーで仮留めする。
- \*外装材は縦張りを原則とし、胴縁に一山おきにタッピンねじで固定する。縦方向の重ね代は 200mm 以上とし、横方向の重ね代は一山以上とする。

## 構成材料

### 下地材

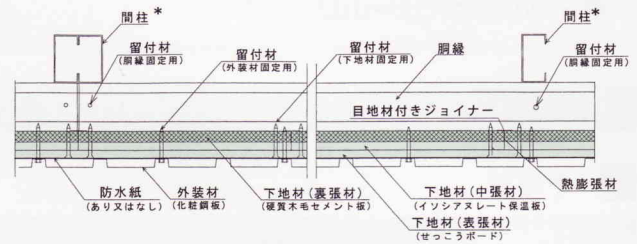
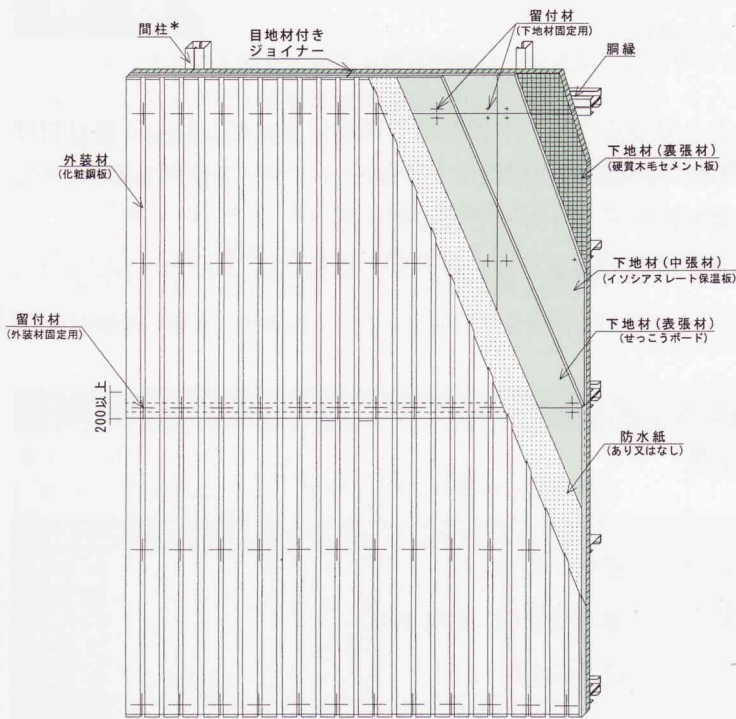
1) 硬質木毛セメント板	厚さ 25mm ~ 50mm 国土交通大臣認定	密度：1.0 以上 準不燃材料 QM-9701 JIS A 5404
2) イソシアヌレートフォーム	厚さ 10mm ~ 75mm	密度：0.50 以下 JIS A 9511
3) せっこうボード	厚さ 9.5mm 以上 国土交通大臣認定	準不燃材料 QM-9819 他
4) 防水材	①アスファルトルーフィングフェルト ②合成高分子系ルーフィングシート ③改質アスファルトルーフィングシート ④透湿防湿シート	JIS A 6005 (1500g/m <sup>2</sup> 以下) JIS A 6008 (厚さ 1.5mm 以下) JIS A 6013 (厚さ 2.5mm 以下) JIS A 6111 (厚さ 0.4 以下)

### 表面材

(金属板) (働き幅 780mm 以下・リブ高さ 15mm 以上)

- (1) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312)
- (2) 塗装溶融 55%アルミニウム - 亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3322)
- (3) 塗装溶融亜鉛 -5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3318)
- (4) 溶融 55%アルミニウム - 亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3321)
- (5) 溶融亜鉛 -5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
- (6) 電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313)
- (7) 塗装ステンレス鋼板 (JIS G 3320)
- (8) 高耐候性圧延鋼材 (JIS G 3125)
- (9) 塩化ビニル樹脂金属積層板 国土交通大臣認定不燃材料 NM-8674 ~ NM-8696 の一

(詳細につきましてはメーカーにお問い合わせ下さい。)



透視図

\* 評価対象外

## 注意事項

### 1. 保管上の注意

- 1) 室内の平滑なところに保管して下さい。
- 2) やむを得ず屋外に保管する場合は水漏れを防止して下さい。
- 3) 積み上げたかさは3m以内にして下さい。
- 4) 火気には十分に注意して下さい。

### 2. 移動上の注意

- 1) 滑り落ちたりしないよう十分に注意して下さい。
- 2) つり上げ移動の際はワイヤーの食い込みにより傷ついたり角を欠いたりしますので十分に注意して下さい。

### 3. 施工上の注意

- 1) 施工は施工方法に従って施工して下さい。
- 2) 下地施工後は速やかに防水材、表面材を施工して下さい。
- 3) 切断時は粉塵が発生致しますので粉塵吸引装置を設置し、作業服を着用の上、防塵マスク、防護メガネ等を使用し作業して下さい。
- 4) 万が一粉塵等が目に入ったり、吸引した場合は流水にて洗い流して下さい。状況により最寄りの専門医に診断を受けて下さい。
- 5) ご不明な点がございましたら下記のメーカー又は代理店にお問い合わせ下さい。

## 代理店

日本工業規格認定工場 第392009号

国土交通大臣認定 QM-9059 QM-9701 QM-9702

国土交通大臣認定 屋根耐火30分 FP030RF-0044 FP030RF-9114 FP030RF-9086 FP030RF-9174

FP030RF-9258 FP030RF-9259 FP030RF-9132

国土交通大臣認定 壁耐火30分 FP030NE-9071 FP030NE-9222

壁耐火1時間FP060NE-9223 FP060NE-0050



**興亜不燃板工業株式会社**

ホームページ <http://www.koa-funen.co.jp>

本社工場 〒276-0047 千葉県八千代市大和田新田1149-7 ☎ 047(450)0001代

長柄工場 〒297-0206 千葉県長生郡長柄町山根1985-1 ☎ 0475(35)5000代

FAX 0475(35)4702